

地域防災支援員の ＼ 今日からやろう！ 防災力UP



むらやま りゅういち
村山 隆一

1964年3月生まれ、白糠町出身。1982年5月、釧路西部消防組合消防署に消防士として奉職。2022年4月、釧路市西消防署白糠支署長に就任。心理相談員や産業カウンセラーなどの資格を所有。好きな食べ物はカレーライス。

No.12 新しくなった「警戒レベル」と避難のタイミング
～新しい防災気象情報～

防災気象情報の名称にレベルが明記されました！

■2026年5月29日から、気象庁の防災気象情報（以下「情報」）の名称が変わります。「警報」や「注意報」にレベルの数字がつき、私たちがいつ避難すべきかがより明確になっています。今回は、特に重要な変更点を紹介します。

問 情報の名称がどう変わったのですか？

答 大雨や高潮など全ての情報に「レベル2～4」という数字が明記されます。

解 これまでバラバラだった名称が、「レベル2大雨注意報」、「レベル3高潮警報」、「レベル4土砂災害危険警報」など、名前を見ただけで

危険度が分かるようになります。

問 新しくできた「レベル4危険警報」って何ですか？

答 町が出す「避難指示」と同じタイミングで出る重要な情報で、「危険な場所から全員避難」を強く促す情報です。

解 命を守るための最終ラインです。これが発表されたら速やかに危険な場所から離れ、安全なうちに避難を完了してください。

問 レベル5が出てから逃げても大丈夫？

答 いいえ、レベル5では手遅れになる可能性があります。

解 レベル5は既に災害が発生している状態です。レベル4の「危険警報」や「避難指示」が出た段階で、必ず避難を済ませましょう。

問 どこに逃げればいいのか迷ったら？
答 あらかじめ「ハザードマップ」を確認し、避難先を決めておきましょう。

解 レベル2（注意報）のうちに、避難経路を再確認してください。また5月号で紹介した「避難者情報カード」の記入は、心に余裕があるレベル2のうちに済ませておきましょう。早めの準備が、命を救う「次の一歩」につながります。

・防災に「いまさら」はありません

新しい情報の見方を知ることが、地域を守る力につながります。「ミニ防災講話」でも詳しく解説しますので、お気軽にお声がけください！

△アンケートのお願い

昨年の津波警報・津波注意報に関して簡単なアンケートを実施しております。隣のQRコードからお答えください。

よろしくお願ひします。

津波避難アンケート

<https://logoform.jp/form/imyj/1541490>



防災マップWeb版

<https://www.town.shiranu.kag.jp/kuwash/bousai>



	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮	とるべき行動
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保
災害発生警戒レベル4までに危険な場所から必ず避難					
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から 全員避難
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	危険場所から 高齢者等は避難
警戒レベル2相当	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	自らの避難行動を 確認する
警戒レベル1	早期注意情報				災害への心備えを 高める

①レベルと警報名をセットで確認！ ②レベル4の「危険警報」注意
皆さんの命を守るための新しい情報です。家族やご近所と確認しましょう。

